

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2019.11.25 No.365 東京・羽村平和委員会発行



米軍横田基地配備のCV22オスプレイ

最重大事故率が上昇

2年連続

昨年、米軍横田基地（東京都福生市など5市1町）に配備された特殊作戦機CV22オスプレイについて、最も重大な「クラスA」の事故率（10万飛行時間あたりの事故数）が2年連続で



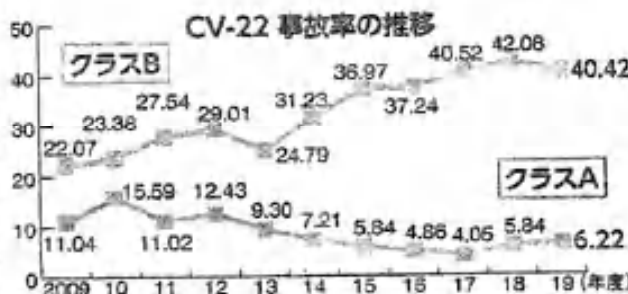
横田基地内を飛行するCV22オスプレイ10月31日（提供）羽村平和委員会Vokotajoho

前年度を上回っていることが、米空軍が公表した2019会計年度（18年10月～19年9月）の最新統計で分かりました。

統計によれば、「クラスA」事故率は17年度が4.05だったのに対し、18年度は5.84、19年度は6.22と上昇。米空軍の有人機の中で最も多です。

また、「クラスB」事故率は40.42で、2番目に多いB1戦略爆撃機の18.60と比べて突出しています。統計によれば、19年度は「クラスA」事故が1件、「B」が3件発生しています。

「クラスA」は死者または200万円（約2億2500万円）以上の損害が出た事故。「クラスB」は重大後遺症が50万～200万



の損害発生と定義されています。米軍内では、担当者責任逃れでクラスを下げた指摘もあり、クラスA相当の事故はさらに多い可能性もあります。

CV22の事故率の高さは

以前から指摘されていましたが、防衛省は「10万時間に達しない機種の事故率は意味がない」と弁明していました。しかし、統計によれば、CV22の総飛行時間は今年9月末現在で9万6485時間に達しており、10万時間は目前です。

米空軍は昨年4月、横田に5機のCV22を暫定配備し、10月から正式配備。首都圏の人口密集地上空で倘若無人な訓練を行っていました。「横田基地の撤去を求める西多摩の会」の高橋美枝子代表は、「いつ墜落するの心配でたまらない。事故の詳細を隠したまま、CV22が特殊作戦機のための危険な訓練を私たちの上空で続けることは本当に許せません」と憤ります。



11月24日(日)、福生市の公園で、オスプレイはいらない11.24東京大集会が開かれ、2000人が参加しました。米軍の特殊作戦機CV22Bオスプレイ5機が横田基地に正式配備されて1年以上がたち、さらに5機が追加配備されようとしています。集会で共産党の笠井亮衆院議員は「政府、防衛省は米国言いなりで危険なオスプレイ配備を進め、飛行回数の調査まで止めてしまった」と告発。同党の和泉なおみ都議は、オスプレイが市民に銃口を向けた訓練について「都は米軍の立場を代弁するだけ」「世論を広げよう」と呼びかけました。立憲民主党の川田龍平参院議員、れいわ新選組の山本太郎代表、村木あきる野市長からメッセージが寄せられました。東京地方労働組合評議会の荻原淳議長が主催者挨拶、東京全労連の大森進議長は連帯の挨拶をしました。リレートークでは、女子高校生が発言するなど、盛り上がりしました。

横田でも有害物質漏出

米軍基地 井戸から検出

【シモン・ミッチェル特約通信員】在日米軍司令部のある米軍横田基地(東京)で2010、17年に漏出した残留性有機フッ素化合物PFOS(ピーホス)を含む泡消火剤の量が、少なくとも計3161リットル以上とが分かった。同基地の16年の調査では、基地内の井戸水から高濃度のPFOSも検出されていることも分かった。(2頁に続き)

菅大副飛行場内での汚染が指摘されているPFOSが、別の米軍基地からも漏れ出ている懸念が強まった。米軍情報公開制度により本紙が入手した記録によると、同基地で12年、泡消火剤3028リットルが貯蔵タンクから土壌に漏出した。文書では、同剤が「新たに知られるようになった環境汚染物質」のPFOS

Sを含むと指摘しているが、漏出は日本側に通報されなかった。同年は95リットルが別の事故があったほか、10年にも38リットルの同剤が漏出する事故もあった。一方、同基地の内部向け文書によると、基地内11の井戸から16年に採取した水を検査した結果、PFOSと類似のフッ素化合物PFOS(ピーホス)を含む

PFOS(ピーホス)を含むPFOS(ピーホス)の量は最大35ppt(1pptは1億分の1)だった。米環境保護局(EPA)の生涯健康勧告値はPFOS・PFOA合計で70pptだが、米保健当局は6月の報告書でPFOSの含有上限を7ppt、PFOAは11pptと勧告した。米バーモント州は7月、飲料水のPFOSと類似物質の含有量勧告値を20ppt以下とした。横田基地のPFOSを巡っては、05年にも京都大学大学院医学研究科などのチームが、多摩川で最大440pptのPFOSが検出されたことと同基地からの排水を関連づける論文を『エンバイロメンタル・サイエンス』誌で発表した。

横田基地内の井戸、ピーホス等

汚染物質、最大35 ppt

2016年

多摩川で、最大440 pptの

ピーホス検出

2005年

米軍は、情報開示を 国は、安全基準を定め

都は、多摩川のピーホスを含めた水質調査を

泡消火剤の偶発的な漏出に加え、同基地にある消火訓練区域では数十年にわたるPFOSに汚染された泡消火剤が散布されてきたとみられる。

米軍のピーホス汚染基地増加

米軍が有機フッ素化合物等で汚染された基地用地の数が増加していると、国防次官補が発表したそうです。飛行機や船の火災で消火するために泡消火剤を使用したり、テフロン加工の調理器具等に使用されている化学製品は、いろいろのタイプのガンや先天性障害児につながっているとして、軍は、対策本部を創設したそうです。



CV22に夫人たち試乗

11月15日(金)、横田基地で、第21特殊作戦飛行中隊及び第753特殊作戦航空機整備中隊所属の配偶者達が、CV-22Bオスプレイに試乗する機会が与えられました。オスプレイは事故が多いし、配偶者も気になったのでしょうか。

